

フロリネフ錠 0.1mg

【この薬は？】

販売名	フロリネフ錠 0.1mg FLORINEF TABLETS 0.1mg
一般名	フルドロコルチゾン酢酸エステル Fludrocortisone Acetate
含有量 (1錠中)	0.1mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、合成鉱質コルチコイドと呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、副腎皮質から分泌されるアルドステロンというホルモンに代わって腎臓に作用して、ナトリウムを再吸収し余分なカリウムを排泄することによって、血液電解質のバランスを保持します。ただし、病気の原因そのものを治す薬ではありません。
- ・次の病気の人に処方されます。
塩喪失型先天性副腎皮質過形成症
塩喪失型慢性副腎皮質機能不全（アジソン病）
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にフロリネフ錠に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

次の人は、原則として、この薬を使用することはできません。

- ・高血圧の人
- ・有効な抗菌剤のない感染症にかかっている人
- ・全身の真菌症にかかっている人
- ・消化性潰瘍のある人
- ・精神病の人
- ・結核にかかっている人
- ・単純疱疹性角膜炎の人
- ・後嚢白内障の人
- ・緑内障の人
- ・血栓症の人
- ・最近、内臓の手術を受けた人
- ・急性心筋梗塞を起こした人

次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・感染症にかかっている人
- ・糖尿病の人
- ・骨粗しょう症の人
- ・腎不全の人
- ・うっ血性心不全の人
- ・甲状腺機能が低下している人
- ・肝硬変の人
- ・脂肪肝の人
- ・脂肪塞栓症の人
- ・重症筋無力症の人
- ・高齢の人

この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、1日1/5～1錠を2～3回に分けて飲みます。

なお、新生児、乳児の飲む量および回数は1日1/4～1/2錠分より飲み始めます。

錠剤を分割できない場合は、すりつぶして飲むこともあります。

年齢により感受性が変化しますので、特に新生児・乳児期から血清電解質、レニン活性、血圧等の検査が定期的に測定され、投与量が決定されます。

どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついたときに、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の維持量を決めるまでは血圧は1日1回以上、血清電解質は必要に応じて測定が行われます。
- ・この薬の使用により、高血圧、高ナトリウム血症、低カリウム血症、浮腫等があらわれることがありますので、このような症状があらわれた場合にはただちに受診してください。また、食塩摂取量にも注意してください。
- ・この薬を長期使用する場合は、血圧、血清電解質濃度の定期的な検査が行われます。
- ・水痘（みずぼうそう）または麻疹（はしか）に感染すると致命的な経過をたどることがあります。感染が疑われる場合はただちに受診してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
誘発感染症、感染症の増悪 ゆうはつかんせんしょう、かんせんしょう のぞうあく	かぜのような症状、からだがだるい、発熱、嘔吐
続発性副腎皮質機能不全 ぞくはつせいふくじんひしつきのうふぜん	からだがだるい、吐き気、嘔吐、力が入らない、 食欲不振、低血圧
糖尿病 とうりょうびょう	のどが渇く、疲れやすい、尿量が多い、体重減少
消化性潰瘍 しょうかせいかいりょう	腹痛、胸やけ、吐き気、嘔吐、食欲不振

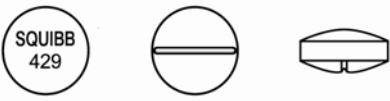
重大な副作用	主な自覚症状
膵炎 すいえん	胃・おなかの激しい痛み、吐き気、背中の痛み、嘔吐
精神変調 せいしんへんちょう	気分が落ち込む、夜中に目がさめる、眠りが浅い、食欲不振、情緒不安、考えがまとまらない、気分がふさぎ込む、やる気がおきない、ぼんやりする、どうしたらよいかわからない、からだがだるい、上機嫌
うつ状態 うつじょうたい	やる気がおきない、気分が落ち込む、気分がふさぎ込む、不眠
痙攣 けいれん	けいれん
骨粗鬆症 こつそしょうしょう	腰・背中の痛み、骨折しやすくなる、手足の痛み
大腿骨および上腕骨等の骨頭無菌性壊死 だいたいこつおよびじょうわんこつなどのこつとうむきんせいえし	膝の関節の痛み、歩行障害、太もも前面の痛み、関節の痛み、歩くときや立ち上がるときの股関節の痛み
ミオパシー ミオパシー	筋肉のこわばり、筋力の低下、痛み
緑内障 りょくないしょう	吐き気、眼の痛み、視力の低下、頭痛
後嚢白内障 こうのうはくないしょう	眼のかすみ、光がまぶしく感じる、視力の低下
血栓症 けっせんしょう	吐き気、血を吐く、腹がはる、嘔吐、胸の痛み、胸をしめつけられる感じ、激しい腹痛、出血、足の激しい痛み、知覚のまひ、胸を強く押さえた感じ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	かぜのような症状、からだのだるい、力が入らない、けいれん、骨折しやすくなる、関節の痛み、痛み、発熱、疲れやすい
頭部	考えがまとまらない、ぼんやりする、頭痛
眼	眼の痛み、視力の低下、眼のかすみ、光がまぶしく感じる
口や喉	吐き気、血を吐く、嘔吐、のどが渇く
胸部	吐き気、胸やけ、胸の痛み、胸をしめつけられる感じ、胸を強く押さえた感じ
腹部	吐き気、腹痛、食欲不振、激しい腹痛、胃・おなかの激しい痛み、腹がはる
背中	腰・背中の痛み、背中の痛み
手・足	手足の痛み、膝の関節の痛み、歩行障害、太もも前面の痛み、関節の痛み、歩くときや立ち上がるときの股関節の痛み、足の激しい痛み
筋肉	筋肉のこわばり、筋力の低下

部位	自覚症状
尿	尿量が多い
その他	気分が落ち込む、気分がふさぎ込む、やる気がおきない、どうしたらよいかわからない、夜中に目がさめる、眠りが浅い、不眠、情緒不安、上機嫌、低血圧、体重減少、知覚のまひ、出血

【この薬の形は？】

形状	円形の錠剤		
			
直径	6.4mm		
厚さ	3.0mm		
重さ	0.1g		
色	白色		
識別コード	SQUIBB 429		

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	フルドロコルチゾン酢酸エステル
添加物	リン酸水素カルシウム水和物、トウモロコシデンブン、タルク、ステアリン酸マグネシウム、安息香酸ナトリウム、乳糖水和物、無水乳糖

【その他】

この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

発売会社： Bristol・マイヤーズ株式会社

(<http://www.bms.co.jp>)

メディカル情報部

電話：0120-093-507

受付時間：9：00～17：30

(土、日、祝日並びに当社休日を除く)